



年末年始の家族と過ごす時間は、子どもたちにとって、心が満たされる大切な時間です。睡眠や食事の量を意識して病気や事故のないように楽しいお休みをお過ごしください。また、引き続き流行拡大している新型コロナウイルスにも注意し、お子さまやご家族の体調管理に十分な配慮をお願いします。

<12月の感染症のお知らせ>

結膜炎 3名

年末年始の急病について

年末年始は、ほとんどの病院が休診となります。お子さまの急な発熱や怪我に備えて、事前にかかりつけの病院の他、近くの救急病院の診療時間と休診日は確認しておきましょう。年末年始の休み中に感染症と診断された場合は、休み明けに登園許可証明書の提出が必要になります。

<発熱などの症状がある場合の相談受診方法>

●12月30日まで

かかりつけ医へ電話後に受診

●12月31日から1月3日

新潟県新型コロナ対応受診・相談センター

窓口へ連絡

電話番号 025-256-8275



結膜炎について



白目の表面にある薄い膜とまぶたの裏のピンク色の膜を結膜と呼びます。

この結膜部分が炎症を起こすと、充血して目やにや涙が出たり、まぶたが腫れ、裏側にゴロゴロとした異物感を感じるようになります。登園には問題ないことが多いですが、**流行性角結膜炎(はやり目)**の場合は、**感染力が非常に強い**ため、**登園許可証の提出が必要になります**。結膜炎との症状と似ているため、目やにや充血が見られる場合は、受診後の登園をお願いします。手を清潔に保ち、目を手でこすらないようにしましょう。

スキンケア



●入浴ポイント

毎日の入浴で体を清潔に保つことは大切ですが、洗剤の強い石けんやボディソープで洗うと、かえって肌を乾燥させます。洗浄力がゆるやかで刺激の弱い物を少量、よく泡立ててから使いましょう。肌が乾燥気味の際は、タオルを使わず、手で優しく洗う程度で十分です。また、保湿成分を含む入浴剤を使用するのも効果的です。

乾燥対策のポイント

湿度が50%以下になると、皮膚の乾燥が始まると言われています。**衣類は綿100%がおすすめです**。アクリル・ポリエステル素材は極力避けましょう。特に乳児は、冬場だけでなく一年を通したスキンケアが欠かせません。医師や薬剤師に相談して、子どもの肌質や年齢に合った保湿剤を見つけておくのもよいでしょう。